

千 草 会 会 報

題字 原あやめ

モンソー公園とチェルヌスキー美術館

千草会会長 細田直孝
学院長

今年の4月下旬から2週間ほど用事があつてパリへ出かけましたが、向こうではさいわい好天に恵まれて、いくつかの公園での散歩を楽しむことができました。いつもですと、

■目次

- モンソー公園とチェルヌスキー美術館… 1頁
- 卒業生だより…………… 2頁
「デザイナーからアタッシュ・ドゥ・プレスへ」
「仕事と自分」
- ジュエリーデザイン科15周年記念展… 3頁
- 千草会だよりとご案内
千草会賞・千草会費の会計報告
- 学務課より・入学案内・就職…………… 4頁
講師・職員移動報告



20 年号

この季節はまだ肌寒い日があつてコートを手放せないようですが、今年はいささか例外で25度前後の晴天が続き、上着も要らないほどの初夏の毎日でした。それで、街路樹や公園のマロニエの花が一斉に咲きだして、まさにマロニエの花盛りの光景をあちこちで見ることができました。モンソー公園にもマロニエの大木が何本かあつて、新緑も鮮やかな葉の繁みから、円錐型の白い花の房（口の悪いパリっ子によると、共産党が植えた所には紅い花が咲くのだそうです）が所狭しとばかりいくつも空に向かって咲き誇っていました。

このモンソー公園に接して、中国の考古学的美術品の収集で知られるパリ市立チェルヌスキー美術館があります。1957年に、ここで山脇敏子先生の着物展が開かれ、その時一緒に展示された日本人形21体が山脇先生からパリ市に寄贈されました。天平時代から昭和にかけての日本の衣裳の変遷が一目でわか

るように作られたもので、チェルヌスキー美術館の貴重な所蔵品の一つになっています。それを見るために館長のベガン氏に会いましたが、残念ながら、他の所蔵品と一緒に地方の美術館に貸出し中とのことで、日本人形との対面は果たせませんでした。しかし、日本へのおり帰りの可能性はなきにしもあらずとの話でしたので、近い将来他の美術館と協力してその実現が図れば、と願っています。



マロニエの白い花

モンソー公園

「デザイナーからアタッシェ・ドウ・プレスへ」



手芸科

昭和39年卒

伊藤美恵

(旧姓 高橋)

私は現在、フランスにおいて高い認知と評価を集める、コミュニケーション担当者養成する専門大学「EFA P」アジア圏初の姉妹校、「エファップ・ジャポン」の学長と、PR会社「株式会社ワグ」の経営者として、それぞれの仕事に情熱を注いでおります。

山脇を卒業後、ファッションデザイナーを経てファッションプロデューサーを経験し、その集大成としてワグを設立しました。現役のアタッシェ・ドウ・プレス(以下A・d・p)PR・広報として活動する中、日本におけるA・d・pの人材育成の必要性を痛感し、エファップ・ジャポンを5年前の2003年に開校いたしました。あの頃の私は今考えても、想像を超える位のエネルギーと情熱によって実現できたと思っています。

私が山脇に入学した時には、将来自分がこのような仕事は勿論のこと、就職するという意識さえありませんでした。しかし知人の紹介で(株)花井に入社し、ファッションデザイナー花井幸子氏の側で仕事の面白さに引き込まれ、私自身もファッションデザイナーの道を志しました。もともと手仕事は好きな方でしたがその頃の私は、ピンクッションへのピン打ち方でさえ、どうすれば使いやすく、美しく打つことができ、仕事がスムーズに進むのか?と工夫していま

した。それは、本当に小さなことのようにですが、「細かいことをきちんとやる」という山脇で学んだ大切な私の基本的な姿勢となりました。刺繍などの技術だけではなく、一つ一つ丁寧に作品を仕上げていくことが、全てに通じる、決して無理するわけではなく、面白がりながら努力することができ、それらの積み重ねで知らず知らずのうちに自分の身に付く、いわゆる「しつけ」を学んだと思っています。

今私が、学生に良く話すことは、どんなに小さいことでも誠意を尽くして仕事をするということ、そうすれば信頼感が生まれ、次につながるっていくということ。その人自身が持つ人間の魅力。人間力を磨くことは、仕事をしていく上でもとても大切なことです。

私は最初から目標があったわけではありませんが、こうして今、A・d・pの仕事を一生涯の仕事として続けています。山脇に通う学生の方々にも、山脇での教養をそれぞれ自分なりに活かして自分の道を探して欲しいと思っています。

伊藤美恵・1944年生まれ。山脇服飾美術学院卒業後、株式会社花井に入社。70年代人気ブティック、バスシヨップのチーフデザイナーとして活躍。1985年、株式会社ワグを設立。国内外のブランドのアタッシェ・ドウ・プレス業務を中心に、現在はコンサルティング業務なども幅広く手がけている。2003年、フランスEFA P (Ecole d'Art de la Mode de Paris) の姉妹校として、アタッシェ・ドウ・プレス(広報・PR)養成学校、エファップ・ジャポンを開校。2004年、毎日ファッション大賞、駿岡阿美子賞受賞。2007年、著書「情熱がなければ伝わらない! (日経BP社) を出版。現在に至る。

「仕事と自分」



ビジュアルデザイン科

平成16年卒

羽成まどか

山脇を卒業し、今年で社会人5年目となりま

した。昨年からは山脇の助手をさせて頂いています。仕事をしていく中で、今はとても充実した時間をおくる事が出来ています。その充実を味わえるようになったのは、社会に出て様々な経験や出会いがあったおかげだと実感しています。前の会社ではイベントのアシスタントディレクターとして、企業向けの記念式典や展示会、セミナーなどの企画運営やキャンペーンイベント、それに関わる販促物の提案、制作などを仕事としていました。イベント会社ということもあり、毎日その準備や制作、打ち合わせに追われ、とにかく忙しすぎて忙しすぎてお休みの日も休まずに決まっていた。いつもリミットが決まっていた。黙々と目の前のものをこなす毎日でした。

就職して1年目は毎日わからないことだらけで恥をかき、怒られて泣いても休む暇もなく、何も出来ない自分を知り、本気で自分は社会でやっていけないのだとへこむこともありましたが、しかし、その日々の中で、自分の出来ない事を知り、出来ないと思っていた事が出来るようになり、忙しい中を突っ走っていた事で、普段自分にまとわりついてたマイナス思考や勝手な制限は振り払われ、思い込みの皮から一枚一枚脱皮出来ていったように思います。

どんな仕事であっても、大変な部分と楽しい部分はある。自分にとってプラスになることは必ずあるのだと思えました。その時の自分が何を求めているのか、そのことに気がつけば、それを自分の人生におきかえることができるのだと知りました。わたしにとって前の仕事は自分を知らず知らずのうちに生かして、与えられたもの以上の提案が出来るような社会人になりたいです。そして仕事以外では、趣味の幅も広げ、さらに興味のある方向へ歩いて行きたいと思っています。

ジュエリーデザイン科 15周年記念展

今年でジュエリーアート科(現・ジュエリーデザイン科)が設立15周年を迎えました。

15周年を記念して、5月19日(月)～5月31日(土)の期間、山脇ギャラリーにて「ジュエリーデザイン科15周年記念作品展」が行われました。第1期卒業生から15期在校生まで、卒業・進級制作や、新しく制作した作品など沢山の作品がギャラリーに並びました。

5月24日(土)には学院の中庭をお借りして、同窓会を兼ねたパーティーが行われ、懐かしい顔が揃い、楽しいひと時を過ごすことができました。主任の石倉先生をはじめ、講師の先生方、助手の先生方のお力をお借りして、学年を越えて協力し、今回のような展示会を開催できたことを嬉しく思います。これからも、こうして20周年に向けてがんばりたいと思います。

日和佐絵夢



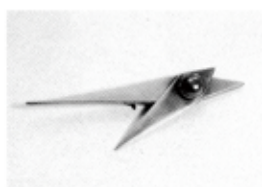
ネックレス・シルバー・石・パール
7期生 梶野幸子



くし・シルバー
7期生 高橋奈緒



パーティー風景



ブローチ・シルバー・石
15期生 小柳貴裕

千草会だよりとご案内

副会長 佐藤紀子

今年の夏もきびしい暑さが続きましたが、皆様お元気にお過ごしでしょうか？

千草会報も少しだけ形を変えて、今年度より、学院の発行しております山脇通信と一緒に、卒業生の皆様にお届けすることになりました。

現在の学院の様子や、ギャラリーの日程など、より具体的にお知らせできると思っております。どうぞご覧ください。

さて、前回の会報でお知らせいたしましたとおり、平成21年に、本学院は創立80周年を迎えます。それに合わせて学院では、記念式典および同窓会パーティーと作品展を企画中です。そのため、今回創立80周年の記念行事にご出席の希望の有無を皆様におうかがいしたく、ハガキを同封いたしました。来年の実施の参考にさせていただきます。存じますので、お手数をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

創立80周年行事予定

日時 平成21年11月1日または3日 午前11時より
場所 記念式典及び同窓会パーティー アルカディア
作品展 山脇ギャラリー
会費 5,000円位

★作品展に出展をご希望の卒業生を募集(1人1点)

応募ご希望の方は同封のハガキに、作品の種類をご記入下さい。応募されました方には後日改めてご連絡させて頂き、詳しい説明を致します。なお、希望者が多数の場合、選抜させて頂くこともございますのでご了承下さい。

★ハガキは10月30日までに返送ください。

千草会では、今年度の山脇展に、山脇80年の歩みのパネル展示や催し物(駄菓子屋さん)を予定しております。皆様お誘い合わせの上お出かけくださいませ。お目にかかれますことを楽しみにしております。

千草会費

●千草会費の会計報告

入学時に納めて頂きました千草会(同窓会)の終身会費について、誌上で会計報告いたします。

平成19年度 千草会費 収支

支出		収入(平成19年度収入)	
千草会報 発行費	967,744	千草会費	1,260,000
行事費 同窓会費	0	寄付	5,000
千草会賞	55,365	利子	+ 11,273
千草会員 展示 お祝い	23,428	計	1,276,273
通信費	114,548	収支	
委員会運営費	381,737	収入	1,276,273
備品購入費	245,892	支出	- 1,788,714
計	1,788,714	計	- 512,441

不足分は今年度までの繰越金で、補っております。

千草会賞

●千草会賞

平成19年度千草会賞を受賞された方々です。名誉会長原あやめ先生より、褒賞状と記念品が授与されました。

VD科 續木靖子

「アニメーターズ サバイバルキット」

「デザイナーを目指す人の装丁ブックデザイン」

「教えて!! FLASH8 ACTIONSSCRIPT」

ID科 牧野美阿

「アーキグラム」

「つくりながら考える/使いながらつくる」

「GA HOUSE記念特集号 100号」

「コンスタンティン メリーニコフの建築 1920s~1930s」

JD科 小久保絵梨華

「宝石1」

今年も昨年同様のペースで求人が寄せられています。新卒採用を積極的に進めている企業が多くなってきたように思います。また、卒業生対象の求人も増えています。また、新卒者に求められる能力は、年々高まる一方です。昨今では、社会における仕事の意義の変化や、雇用形態、職業の多様化が進み、学生も様々な不安や悩みを抱えております。しかし、仕事を通して得られる、労働の楽しみや、社会参加の素晴らしさに期待し、就職活動に取り組んで欲しいと思います。

主な就職先（平成二十年三月卒業生）

(株)イーメール、(株)ジェイ・キャスト、アートコスモス(株)、(株)グズマン、(株)クリーン、溝端紙工印刷(株)、東美(株)、(株)エストール、(株)ポバル、(株)マトリックストアガナイゼーション、フリーダムデザイン(有)、(株)ベクトルコア、(株)東京全工房、(株)ケーテン、(株)産業編集センター、(有)クリオ、(株)パルス、(有)ピラミッドサイクルニバコレクション、(株)ジオノ、(株)ワールドストアパートナーズ、(株)東宝ダイヤモンド、エステール(株)

追伸 千草会員の皆様からも、在校生の就職に関する情報のご提供をお願い申し上げます。(学務課就職係 森田 03・3264・4020)

本年度のオープンキャンパスも夏休み中のピークを終了し、早くも出願の時期となっています。最近では、少子化による大学全入時代と団塊世代の退職による就職状況好調によって、専門学校の募集も大変厳しくなっています。

山脇でも、特待生制度やAO入試の新設等の手段を講じていますが、厳しい状況は続くものと思われます。専門学校の特待生は修業年限・学費・就職など数多くあります。皆様のお知り合いで、デザインに興味のある方が居られたら、是非、山脇の3学科をご紹介しますようお願いいたします。

お問い合わせ・お申し込み先 TEL03-3264-4020

体験入学	学校説明会	イブニング説明会
第7回 9月14日(日)	第9回 9月13日(土)	第2回 9月26日(金)
第8回 10月19日(日)	第10回 10月11日(土)	第3回 10月24日(金)
平成21年	第11回 11月15日(土)	※要予約
第9回 3月29日(日)	第12回 12月14日(日)	
※要予約	平成21年	
	第13回 1月17日(土)	
	第14回 2月22日(日)	
	第15回 3月7日(土)	
	第16回 3月8日(日)	
実施時間 11:00~15:30 (受付10:30)	実施時間(1日2回) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00	受付時間 18:00~19:30 (受付17:30)

学内見学 月曜日~土曜日(休校日を除く毎日)
受付時間 月~金 9:30~16:00 土 9:30~14:00 ※事前連絡不要

講師・職員移動報告

●退職された先生

ビジュアルデザイン科 藤原俊子先生 助手
 インテリデザイン科 柏木恵美先生 助手
 ジュエリーデザイン科 岩澤晴彦先生
 宮城由紀子先生
 任 梨沙先生 助手

長い間ご指導ありがとうございました

●就任された先生

ビジュアルデザイン科 曾我部理沙先生 助手
 インテリデザイン科 日方一城先生
 ジュエリーデザイン科 長濱知子先生
 坂有利子先生
 ※富永文先生産休の為、1年の予定
 北村静香先生 助手

災害地へのお見舞い

東北地方での地震が相次ぎ、心よりお見舞い申し上げます。千草会より、皆様の気持ちとして、岩手宮城内陸地震の被災地の方々に、日本赤十字を通じて、三万円寄付させていただきました。被災地の皆様方には、充分お身体に気をつけていただきますように、そして一日も早く復興なさることをお祈りしております。

●学院へのアクセス JR総武線

地下鉄 東京メトロ(有楽町線・南北線)
 都営地下鉄(新宿線)

各線 市ヶ谷駅 下車
 地下から学院へは「A2」出口が便利です。

発行 山脇美術専門学校同窓会

〒102・0074
 東京都千代田区九段南4・8・21
 電話 03・3264・4020